

## 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

### 第1項（政策17） 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

#### めざしたい将来像

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	39%	<b>45%</b>	50%
商業の年間商品販売額	80,376,473 万円	76,668,908 万円	—	—	<b>69,002,017</b> 万円	80,000,000 万円
製造品出荷額	46,795,923 万円 (H12.12)	42,773,374 万円 (H18.12)	47,370,740 万円 (H20)	46,101,038 万円 (H23)	<b>41,490,934</b> 万円	43,000,000 万円
農用地利用権設定面積	—	1.54ha	3.55ha	1.81ha	<b>2.1ha</b>	1.8ha
松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	—	—	19.0%	19.6%	<b>25%</b>	30%
主要観光スポットの観光客数	3,175千人	2,627千人 (H19.12)	2,617千人	2,740千人	<b>2,820千人</b>	2,800千人

◆商工業を盛んにします

◇ 松戸駅周辺を活性化します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
92	地元とともに、まちづくり基本構想に基づいた基本計画案を策定します。 【街づくり課】	相模台地区を含む駅周辺の整備方針が決まります。	5年以内に着手を予定している先行整備地区の整備方針を定めます。	松戸駅周辺地域活性化事業（まちづくり基本構想推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 商業等の活性化を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
93	松戸駅周辺の価値を高めるため、関係団体と連携しながら、中心市街地活性化を図ります。 【商工振興課】	賑わいに溢れる商業拠点になります。	平成24年度29回であった中心市街地におけるイベント開催件数を増やします。	商店街活性化指導事業（中心市街地活性化業務）	26	
					27	
					28	
					計	
94	販売促進事業や空き店舗の活用により商店街の活性化を図ります。 【商工振興課】	商店街の賑わいが創出され、地域コミュニティの向上に寄与します。	空き店舗活用事業を毎年1件増やします。	商店街共同事業支援事業（商業振興関係行事開催事業補助金、空き店舗対策支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 中小企業の経営を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
95	事業者・起業希望者の経営支援のため、相談事業等の充実を努めます。 【商工振興課】	市内中小企業の経営の安定が図られます。	平成24年度125件であった中小企業経営相談件数を増やします。	経営支援事業（中小企業相談室業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 工業等の活性化を支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
96	工業関係団体等と連携し、市内に新たな企業を誘致します。 【商工振興課】	雇用や税収の増加につながります。	工業団地へ新たな企業を2ヶ所誘致します。	企業誘致事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 市場を活性化します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
97	市場を活性化するため、公設市場の民営化に向けた検討を行います。 【消費生活課】	効率的で自由な民営市場の実現に向けて方向性を明らかにします。	民営化に向けて、その準備に係る検討会等を発足させます。	市場施設管理事業（施設管理関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆ 農林水産業を続けられるようにします

◇ 農業の生産性を向上させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
98	農業の生産性の向上のため、農地の利用集積を推進します。 【農政課】	農業経営規模の拡大と遊休農地の解消が図られます。	平成 24 年度 23.5ha あった遊休農地を減らします。	農業経営基盤強化事業（農用地利用促進業務）	26	
					27	
					28	
					計	
99	地場農産物の生産供給を拡大するため、松戸市産ブランド品を育てます。 【農政課】	松戸市産のブランド農産物が安定的に供給されます。	平成 24 年度 474 人であった松戸ブランド農産物認定生産者数を増やします。	産地育成強化支援事業（農産物ブランド化業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 農地を保全します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
100	安全・安心な地場農産物を生産供給するために、環境保全型農業を推進します。 【農政課】	安全・安心な地場農産物が安定的に供給されます。	平成 24 年度 1,212,188 千円だった農産物出荷額を増やします。	環境保全型農業推進事業（土づくり推進事業補助金、環境にやさしい農業推進事業補助金）	26	
					27	
					28	
					計	
101	地場農産物とふれあい、農業への関心をもってもらうために、オーナー農園・体験農園を支援します。 【農政課】	生産者と市民の交流を通じ、農業への理解が図られます。	平成 24 年度、760 区画だったオーナー農園の販売区画数を増やします。	観光農業普及奨励事業（オーナー農園支援業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆市内観光を楽しめるようにします

◇ 観光情報を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
102	松戸ゆかりの人や観光協会と連携した観光情報を提供し、観光促進を図ります。 【文化観光課】	様々な観光情報に触れることができます。	観光協会のホームページアクセス数を増やします。	観光促進事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 観光資源を活用します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
103	文化・芸術的な観光資源を活用し、新たな価値の創造を図ります。 【文化観光課】	観光振興に繋がる新たな文化等が根付きます。	既存の観光資源を活かして、新たなイベントを開催します。	文化の香りのする街事業	26	
					27	
					28	
					計	

## 第2項（政策18） 個性を活かし、能力を発揮して働くことができるようにします

### めざしたい将来像

松戸市に住む人が潤いのある生活を送れるように、若者から高齢者まで就労したい人は誰もが、就労できる環境をつくることによって、松戸に住んでよかったと思えるまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
新規求人倍率 (松戸市内)	0.66倍	0.86倍	0.51倍	0.73倍	<b>1.0倍</b>	1.0倍
65歳以上の完全失業率	4.8% (H12)	—	5.8% (H17)	5.7% (H22)	<b>5.3%</b>	4.8%
20歳代の就業率	69.2% (H12)	—	66.8% (H17)	67.6% (H22)	<b>68.8%</b>	70%
就業者数	235,837人 (H12)	—	232,391人 (H17)	226,256人 (H22)	<b>232,391人</b>	260,000人
障害者法定雇用率を達成している企業の割合(松戸市内)	51.4%	37.0% (H18.6)	42.5% (H21.6)	35.6% (H24.6)	<b>35.6%</b>	50%
障害者法定雇用率を達成している企業数	—	—	34社	32社	<b>36社</b>	40社

◆働きたい人は働けるようにします

◇ 多様な雇用ニーズを支援します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費(千円)	
104	若年求職者に対して、職業能力を向上させるための支援を行うとともに、関係機関との連携を図ることで、求職者と求人をつなげることができるようにします。 【商工振興課】	若者の就労が増えます。	平成 24 年度 111 人であった若者就労支援事業参加者数を増やします。	雇用促進事業(若者就労支援業務)	26	
					27	
					28	
					計	
105	障害者の職場実習や雇用に対する助成等を行うとともに、関係機関と連携し、企業への働きかけを行うなど、障害者の就労を支援します。 【商工振興課】	障害者の雇用が増えます。	平成 24 年度 29 社であった障害者職場実習奨励金申請企業数を増やします。	雇用促進事業(障害者職場実習奨励業務、障害者・高齢者雇用促進奨励業務)	26	
					27	
					28	
					計	
106	女性や高齢者が就労セミナーに参加しやすい環境をつくるなど、幅広い就労支援を行います。 【商工振興課】	個性を活かして働く人が増えます。	平成 24 年度 87 人であった再雇用促進講座参加者数を増やします。	雇用促進事業(求人・就職雇用促進業務)	26	
					27	
					28	
					計	

### 第3項（政策19） ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします

#### めざしたい将来像

文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
安心やゆとりを感じている人の割合	24.6%	25.6%	26.9%	29.5%	<b>33%</b>	30%
最低居住面積水準未満率	7.0% (10年度)	—	8.3% (20年度)	8.3% (20年度)	<b>0%</b>	0%
景観づくりに参加する人の数	—	48人	73人	74人	<b>97人</b>	120人
地区計画策定面積	104.0ha	104.0ha	104.9ha	105.4ha	<b>116ha</b>	127ha

◆住環境が整ったまちにします

◇ 合理的な土地利用を進めます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
107	魅力あるまちを創出するため、一団のまとまった土地について、開発可能な土地利用を見直します。 【都市計画課】	適切で秩序ある調和のとれた土地利用が形成されます。	区域区分等の見直しを行います。	土地利用関連計画策定事業（調査検討業務）	26	
					27	
					28	
					計	
108	東松戸駅周辺のまちづくりを進めます。 【政策推進課】	東松戸駅周辺の魅力が上がり、住民の満足度も上がります。	まちづくり用地の事業化をめざします。	まちづくり用地活用事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 良好な宅地を提供します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
109	新松戸駅東側の将来の街の方向性など、地元と協働で街づくりを進めます。 【街づくり課】	街づくりを担う協議会などの組織ができています。	協議会等を設置します。	土地区画整理事業（土地区画整理関係業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 災害（大雨や地震）による建築物破損などを減少させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
110	地震災害による建築物倒壊などを減少させるため、木造住宅等の耐震化の促進を図ります。 【建築指導課】	安全な住環境が整備されます。	民間木造住宅への助成件数を増やします。	既存建築物耐震診断・改修促進事業（助成業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆生活の援助が必要な人に住宅を供給します

◇ 良質な公営住宅を供給します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
111	良好な公共住宅を供給するため、市営住宅の耐震化を図ります。 【住宅政策課】	公営住宅の安全性が確保されます。	平成 24 年度 81%だった耐震化対応住宅の割合を 90%に高めます。	市営住宅管理事業（市営住宅維持管理業務）	26	
					27	
					28	
					計	
112	安心して生活が営めるよう、老朽化した市営住宅の再整備の方策を検討します。 【住宅政策課】	再整備の方策が明らかになります。	再整備に向けた基本計画を定めます。	老朽化市営住宅建替事業（ハケ崎市営住宅建替業務）	26	
					27	
					28	
					計	
113	UR都市機構などの集合住宅のあるまちの今後のまちづくりを検討するため、市民、事業者、行政などによる検討体制をつくります。 【住宅政策課、健康福祉政策課】	集合住宅のあるまちの今後のまちづくりの方向性について、市民、事業者、行政などで共有します。	意見交換会、協議会、懇談会等を開催し、意見を集約します。	大規模団地等活性化事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆美しいまちなみを増やします

◇ 良好な都市景観を形成します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
114	良好な都市景観を形成するため、市民・事業者と協働して、地区での景観づくりを進めます。 【都市計画課】	地区での景観づくりの活動が活発になります。	平成 24 年度 1 地区だった計画づくりに着手している地区を 1 地区増やします。	都市景観推進事業（景観形成推進業務）	26	
					27	
					28	
					計	

## 第4項（政策20） 誰もが安心してスムーズに移動できるようにします

### めざしたい将来像

誰もが安心して気軽に外出できる街並みを増やすために、人と自然にやさしい公共交通と道を整備することによって、いつまでも住み続けていたいまちを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
道路のバリアフリー 地区別完了率	—	6.7% (1/15地区)	6.7% (1/15地区)	6.7% (1/15地区)	<b>13%</b> (2/15地区)	27% (4/15地区)
鉄道駅の バリアフリー化率 (ワンルート整備率)	5.3% (1/19駅)	47.4% (9/19駅)	60.0% (12/20駅)	77.2% (17/22駅)	<b>91%</b> (20/22駅)	100%
鉄道の混雑率 (緩行電車)	209% (12年度)	179% (18年度)	173% (20年度)	165%	<b>158%</b>	150%
鉄道の混雑率 (快速電車)	205% (12年度)	177% (18年度)	175% (20年度)	168%	<b>159%</b>	150%
渋滞箇所数	28箇所	26箇所	26箇所	24箇所	<b>24箇所</b>	25箇所

◆歩行者等が移動しやすくなります

◇ 道路の障害を取り除きます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
115	従来の対処療法型の管理から、橋梁長寿命化修繕計画に基づく予防保全型の管理に転換します。 【道路維持課】	橋梁の安全性・信頼性が確保でき、短期に集中する財政負担の回避にもつながります。	予防保全型修繕等を橋梁37橋実施します。	橋りょう維持管理事業（補修業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 高齢者・障害者等の移動機能を向上させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
116	交通バリアフリー基本構想に基づき、引き続き、松戸駅西口地区の歩道のバリアフリー化整備を行います。 【道路維持課】	歩行者の安全性が確保されます。	松戸駅西口地区の交通バリアフリー整備を完了させます。	道路改良事業（交通バリアフリー整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◆車で移動しやすくなります

◇ 幹線道路を連続させます

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
117	長期未着手都市計画道路の将来的な必要性を検証し、廃止、変更及び継続路線の判定を行います。 【都市計画課】	より効率的、効果的な都市計画道路網が形成されます。	追加廃止・構造変更などの路線見直し率を5%にします。	都市計画道路計画策定事業（調査検討業務）	26	
					27	
					28	
					計	
118	幹線道路を連続させるため、都市計画道路の整備を図ります。 【道づくり課】	幹線道路網の整備が図られ、交通渋滞の緩和や高速道路へのアクセス向上にもつながります。	3・3・6号線（ハケ崎）、3・4・35号線（和名ヶ谷）については、供用を開始し、3・3・6号線（和名ヶ谷）については、事業に着手します。	都市計画道路新設整備事業 3・3・6号線街路整備業務（ハケ崎） 3・4・35号線街路整備業務（和名ヶ谷） 3・3・6号線街路整備業務（和名ヶ谷）	26	
					27	
					28	
					計	

◆公共交通が利用しやすくなります

◇ 輸送力を増強します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
119	千駄堀地区における交通利便性を向上させるため、新駅の設置について検討します。 【交通政策課】	新駅の設置について、方向性が明らかになります。	「森のホール21」を中心としたアクセシビリティを向上します。	交通利便性向上検討事業	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 放置自転車対策をします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
120	自転車駐車場の整備に関する基本計画を策定し、利用者のニーズに合った駐輪場の整備や放置自転車対策の強化を図ります。 【交通政策課】	歩行者等の通行の安全と良好な駅前空間が確保されます。	平成24年度1,046台あった放置自転車の台数を減らします。	自転車駐車場管理運営事業（自転車駐車場整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

## 第5項（政策21） 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

### めざしたい将来像

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合（再掲）	21.1%	22.7%	19.4%	22.0%	<b>23.5%</b>	25%
流域整備面積率	54.6%	57.4%	57.9%	67.8%	<b>69.2%</b>	62%
BOD(75%)値 （国分川水系）	15mg/l	8.6mg/l	9.0mg/l （20年度）	9.2 mg/l	<b>10mg/l 以下</b>	10mg/l 以下
水質基準達成率 （国分川水系 BOD）	37%	75%	83% （20年度）	83%	<b>100%</b>	100%
BOD(75%)値 （坂川水系）	5.9mg/l	5.1mg/l	7.0mg/l （20年度）	6.4mg/l	<b>5mg/l 以下</b>	5mg/l 以下
水質基準達成率 （坂川水系 BOD）	45%	66%	58% （20年度）	100%	<b>100%</b>	100%
河川利用イベントの参加者数	—	10,395人	18,700人	7,529人	<b>14,000人</b>	22,000人
下水道利用率 （下水道利用者数／市内人口）	62.17%	72.26%	74.10%	77.5%	<b>81%</b>	85%

◆水害を少なくします

◇ 河川を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
121	水害から市民を守るため、春木川、紙敷川、上富士川上流等の改修、整備を行います。 【河川清流課】	河川の改修や排水路の整備により、水の流れがよくなります	平成 24 年度、52.7%だった浸水対策率を56.1%にします。	排水施設整備事業	26	
					27	
					28	
					計	

◆ 水環境をよくします

◇ 水辺空間をよくします

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
122	水辺空間をよりよくするため、坂川親水広場の再整備を行います。 【河川清流課】	良好な水辺空間に魅力あふれる親水施設が整備されます。	坂川親水広場の再整備を完了させます。	水辺拠点事業（水辺の施設整備業務）	26	
					27	
					28	
					計	

◇ 下水道を整備します

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
123	マンホールの浮上防止対策及びマンホールトイレの設置など、下水道施設の整備を図ります。 【下水道整備課】	地震時への対応が図られます。	緊急輸送路等のマンホール 436 基の浮上防止対策を図り、避難所等におけるマンホールトイレ 9 校 86 基を設置します。	公共下水道整備事業（下水道施設耐震化業務）	26	
					27	
					28	
					計	

## 第6項（政策22） いつでも安心して水道水が使えるようにします

### めざしたい将来像

いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、安定した飲み水を実現していきます。

	実績値			現状値	めざそう値	
	13年度	19年度	21年度	24年度	28年度	32年度
水道事業に満足している人の割合	21.6%	—	28.4% (20年2月)	33.7%	<b>37%</b>	41%
浄・配水施設の更新率	—	11.0%	43.6% (21年3月)	44.6%	<b>49%</b>	78%

### ◆安定して水を供給します

#### ◇ 需要の変化に対応する

No	取組み課題	めざす成果	目標	対象事業	事業費（千円）	
124	水道施設の耐震性や機能の向上を図ります。 【水道部工務課】	安全な水を安定的に、将来にわたって供給することができます。	幸田配水場の耐震化を完了します。	浄水・配水施設の整備	26	
					27	
					28	
					計	